

令和7年度 学校評価

北海道北見北斗高等学校定時制課程

スクールミッション

- (1) 集団生活や特別活動等を通じて、コミュニケーション能力や豊かな人間性を身に付けた生徒の育成
- (2) 望ましい勤労観、職業観を身に付け、自己実現のために努力する生徒の育成
- (3) 建学の精神「文武両道」「質実剛健」を身に付けるべき不易の価値と踏まえ、社会において将来自立し共生できる生徒の育成
- (4) 学校教育目標を拠り所とし、協働する力や考えてやり抜く力を磨く生徒の育成

【内部評価】本校教職員による評価については、各々A～Dで示した。
 A：十分である B：おおむね十分である C：やや不十分である D：不十分である

【評議員の評価】自己評価をご覧になり、A～Dで評価してください。
 A: 適切
 B: ほぼ適切
 C: やや不適切
 D: 不適切

評価対象	評価項目	自己評価			評議員の評価	
		達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学習指導	1 生徒自らが学び続けることができるよう、言語や数的情報などを読み取る基礎力を育成する。	B	A	●育成をめざす資質能力に関する方針をふまえた教育活動の充実を図る。 ●生徒のニーズに応える授業展開、教科指導の工夫について授業改善の研修に努める。 ●多様な進路希望に応えるキャリア教育の強化を推進する。 ●「総合的な探究の時間」を活用したキャリア学習、探究学習の充実にも努める。 ●Chromebook等のICT機器の計画的な更新に努める。	A	A
	2 社会とのつながりを実感できるキャリア教育の工夫により、生徒が卒業後も継続的に社会と向き合っている人生を展望する姿勢を醸成する。	B	B			
	3 ツールとしてのICTを効果的に活用するなどして思考を深め、他者へ説明する力を育成する。	B	B			
	4 他者への共感的理解の基礎となり、よりよく学び合うためのコミュニケーション能力を育成する。	B	B			
	5 集団生活へのあらゆる機会をとらえ、人権や規律を守り、自他を尊重する意識を高める。	B	B			
	6 良さを認め合い、協働的な学びに安心して取り組むことのできる関係性を構築する。	A	A			
	7 個に応じた指導と観点別評価により、生徒がわからないことを調べ多角的に検討するなどして、自らの学びを深める力を養う。	B	A			
	8 職業に関する学習や生活体験発表など、在り方生き方を考察させる機会等を通して、探究活動の充実を図る。	B	A			
意見・要望等	・ 昨年度と比較し自己評価が上昇した点が評価できる。引き続き改善策にそって教科指導に取り組んでほしい。					
生徒指導	9 働き方改革を進め、情報共有や役割分担と協働により、機能的・効率的な学校運営の改善を図る。	B	B	●教職員の業務の平準化をさらに進め、機能的で効率的な組織の構築を進める。 ●特別支援教育の研修に努めるとともに、望ましい人間関係の構築に努める。 ●いじめの認知件数は0件。 「いじめは絶対に許さない」という姿勢で組織的対応の充実や教育相談の機能の充実にも努める。 ●職員の間接性を高めるとともに教育公務員としての自覚と責任を高める研修を充実させる。 ●地域の教育力・教育資源の活用を推進し、外部人材の活用についても検討する。	A	A
	10 深い理解のもと、いじめ、不登校、問題行動、特別な支援等に適切に対応する体制構築に努める。	B	A			
	11 教職員間の良好な雰囲気作りにより、心理的安全性と同僚性が発揮される職場環境の構築に努める。	A	A			
	12 法令遵守、服務規律の保持のほか、教職員の資質能力を高める研修の機会の確保に努める。	A	A			
	13 教育活動の進捗状況や成果などの情報を積極的に発信することで、地域からの信頼を高める。	B	A			
	14 日頃の丁寧で親身な対応、諸行事等を通して保護者や同窓会との良好な関係作りを努める。	B	B			
	15 大学や地域の外部講師や専門人材等を積極的に活用し、地域連携による教育活動の充実にも努める。	B	B			
意見・要望等	・ 不登校やいじめ対応等をしっかりと取り組んでいる印象を持った。生徒が安心して登校できる環境づくりを進めてほしい。					